### 指定管理者の候補者の選定結果について

# 1 対象施設

青森県総合社会教育センター(青森市荒川字藤戸119番7号)

### 2 指定管理者の候補者名

日本人財発掘・ビルネットグループ

代表団体 特定非営利活動法人日本人財発掘育成協会

(青森市大字浦町字奥野332番地22)

構成員 株式会社ビルネット

(東京都中央区銀座六丁目16番9号)

### 3 選定理由

青森県総合社会教育センター指定管理者審査委員会の審査の結果、日本人財発掘・ビルネットグループが指定管理者として最も優れていると評価されたため、当該団体を指定管理者の候補者とする。

### 候補者の評価内容

- ・ 各種事業(自主事業を含む。)の実施計画の内容が、より積極的で具体性がある。
- ・ 施設の普及や利用者の拡大のための広報計画に創意工夫と具体性が見られ、効果的であると認められる。
- ・ 各種事業の動員計画において数値目標を設定するなど、民間事業者の視点から、 意欲的で具体的な提案がされている。
- ・ 開所日の拡大、開所時間の延長など利用拡大の取り組みは、利用者の立場で施 設運営を計画しており、評価できる。
- ・ 施設の設置目的を理解しており、施設の効用を最大限に発揮することが期待できる。

#### 4 申請者数

2団体

# 5 選定の方法

# (1)審査基準及び配点

| 選定基準の項目 | 審査基準の項目        | 内容                   | 配点    |
|---------|----------------|----------------------|-------|
| 1 県民の平等 | (1)施設の設置目的及び県  | ①施設の設置目的を理解しているか     |       |
| な利用の確保  | が示した管理の方針      | ②申請者が提案した運営方針は県が示した管 |       |
|         |                | 理の方針に沿っているか          |       |
|         |                | ③団体の経営モラルは適切か        | 1 0   |
|         | (2)平等な利用を図るため  | ①事業等の内容が設置目的等に則しているか |       |
|         | の具体的手法及び期待さ    |                      |       |
|         | れる効果           | ②生活弱者等へ配慮されているか      |       |
| 2 施設の効用 | (1)利用者の増加を図るた  | ①年間の広報計画の内容はどうか      |       |
| の最大限の発  | めの具体的手法及び期待    | ②利用拡大の取組内容はどうか       |       |
| 揮       | される効果          |                      |       |
|         | (2)サービスの向上を図る  | ①サービスの向上のための取組内容はどうか |       |
|         | ための具体的手法及び期    | ②事業の提案は県が意図した企画となってい | 3 5   |
|         | 待される効果         | るか                   |       |
|         |                | ③全体的に施設の設備、機能を活用した内容 |       |
|         |                | となっているか              |       |
|         | (3)施設の維持管理の内容、 | ①施設管理、安全管理は適切か       |       |
|         | 適格性及び実現の可能性    | ②維持管理は効率的に行われているか    |       |
| 3 施設の効率 | 施設の管理運営に係る     | 提案額の得点               | 2 0   |
| 的な管理    | 経費の内容          |                      |       |
| 4 施設を適正 | (1)収支計画の内容、適格  | ①収入、支出の積算と事業計画の整合性は図 |       |
| かつ安定して  | 性及び実現の可能性      | られているか               |       |
| 行う能力    |                | ②収支計画の実現可能性はあるか      |       |
|         | (2)安定的な運営が可能と  | ①人員体制は十分か            |       |
|         | なる人的能力         | ②職員採用、確保の方策は適切か      |       |
|         |                | ③職員の指導育成、研修体制は十分か    | 3 5   |
|         | (3)安定的な運営が可能と  | 団体の財務状況は健全か          |       |
|         | なる経理的基盤        |                      |       |
|         | (4)個人情報の適正な取扱  | ①適切な情報管理体制が整備されているか  |       |
|         | いの確保           | ②職員に対する周知が十分なされる内容か  |       |
|         | (5)類似施設の運営実績   | 類似施設を良好に運営した実績はあるか   |       |
| (合 計)   |                |                      | 1 0 0 |

## (2)審査方法

審査委員会において、審査基準に基づき、書類審査及びヒアリングによる審査を行った。

# (3)審査委員

委員長 豊 川 好 司 (青森県生涯学習審議会会長)

委 員 小野寺 高 (公認会計士)

委員 神 重則 (青森県青少年・男女共同参画課長)

委員 白 石 司 (青森県教育庁教育次長)

委 員 月 舘 法 弘 (青森県教育庁生涯学習課長)

### (4) 審査の経過

平成23年6月20日 第1回審査委員会(審査基準等の決定)

平成23年9月16日 第2回審査委員会(ヒアリング及び審査)